

研究の概要

(1) 目的: 製造販売業者におけるテグレート細粒の供給停止に伴い、カルバマゼピン錠剤の粉碎にて対応しているが、抗てんかん薬は適切な薬物治療が重要であり、剤型変更することで、血中濃度等への影響について調査を行うものである。

(2) 方法: 剤型変更前後におけるカルバマゼピンの血中濃度の比較検討。剤型変更前後における併用薬、検査値等収集した情報とカルバマゼピンの関連について後方的に解析する。

研究期間

承認日より2023年3月31日まで

研究機関の名称及び研究機関の長

独立行政法人国立病院機構山形病院
院長 川並 透

研究責任者の氏名

薬剤科
調剤主任 柴田 要一

オプトアウト

特記なし